

各 位

会 社 名 不二精機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 伊井 剛  
(JASDAQ コード番号 6400)  
問合せ先 取締役管理本部長 山本幸司  
(TEL. 06 - 4306 - 6822)

## 特別損失および為替差損の発生ならびに通期（連結・個別）業績予想の修正 に関するお知らせ

この度、当社および連結子会社において、特別損失および為替差損を計上することなどで、平成 20 年 12 月期通期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 11 月 7 日付「通期（連結・個別）業績予想の修正および為替差損の発生に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 特別損失及び為替差損の発生

##### (1) 特別損失について

###### ① 連結子会社における特別損失の発生

連結子会社である蘇州不二精机有限公司において、スーパージュエルボックス事業縮小に伴い、固定資産減損損失を計上いたします。

###### ② 当社における特別損失の発生

###### (ア) 連結子会社への出資金に対する投資損失の計上

当社は、上記の処理に伴い蘇州不二精机有限公司への出資金の実質価額が、平成 20 年 12 月期末において著しく低下しておりますので、関係会社投資損失を計上いたします。

###### (イ) 減損損失の計上

当社における遊休固定資産について、将来キャッシュフローによる回収が困難とされる金額について「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し、減損損失を計上いたします。

これらのことにより、平成 20 年 12 月期の連結決算においては、減損損失 140 百万円を特別損失に計上いたします。

個別決算においては、関係会社投資損失 189 百万円および減損損失 79 百万円の合計額 268 百万円を特別損失に計上いたします。

##### (2) 為替差損について

為替差損につきましては、第 4 四半期の U S ドルの予想レートを 98 円と想定しておりましたが、期末時点で 91 円となったことで、期末時点の外貨建債権債務の評価替などにより為替差損が増加いたしました。

このことより、平成 20 年 12 月期の連結決算においては、293 百万円を為替差損として営業外費用に計上いたします。

個別決算においては、415 百万円を為替差損として営業外費用に計上いたします。

2. 通期（連結）業績予想の修正(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	8,570	6	△323	△172
今回修正予想 (B)	8,459	31	△446	△482
増減額 (B-A)	△111	25	△123	△310
増減率 (%)	△1.3	416.7	—	—
ご参考 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	9,484	53	△71	38

<修正理由および為替差損の発生>

売上高については、精密金型セグメントにおいて、第 4 四半期の顧客における金型関連設備の需要が急減したことおよび、精密成形品セグメントにおいて、中国子会社での液晶関連成形品の需要減などにより、前回予想を 111 百万円下回る見込みであります。

営業利益については、上記の売上高減少の影響による稼働率の低下はあったものの、海外子会社などにおいて製造原価低減活動を徹底的に進めたことなどにより、前回予想を上回る見込みであります。

経常利益については、為替差損 293 百万円を営業外費用に計上することなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益については、減損損失 140 百万円を特別損失に計上することなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

3. 通期（個別）業績予想の修正(平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	5,786	27	△384	△328
今回修正予想 (B)	5,750	16	△542	△697
増減額 (B-A)	△36	△11	△158	△369
増減率 (%)	△0.6	—	—	—
ご参考 前期実績 (平成 18 年 12 月期)	7,460	224	59	△227

<修正理由および為替差損の発生>

売上高については、精密金型セグメントにおいて、連結の修正理由に記載と同様の理由により、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益については、売上高減少の影響による稼働率の低下により、売上原価に占める固定費の割合が増加したことによる原価率の悪化などによって、前回予想を下回る見込みであります。

経常利益については、連結の修正理由に記載と同様の理由により為替差損 415 百万円が発生したことなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益については、減損損失 79 百万円および関係会社投資損失 189 百万円を特別損失に計上することなどにより前回予想を下回る見込みであります。

以 上